

【ロタウイルス】

ロタウイルスによる胃腸炎は、急激な嘔吐と水様性の下痢を頻回に排泄し、発熱が3割～5割程度みられます。

令和2年10月1日から定期接種となり、対象年齢の間は、無料で受けることができるようになりました。

(ただし、令和2年8月1日以降に生まれたお子さんに限ります。)

また、任意接種として初回の接種を令和2年9月30日以前に受けた場合でも、残りの回数分を令和2年10月1日以降に接種する場合は、定期接種として受けることができます。

ロタウイルスワクチン1価（経口弱毒生ヒトロタウイルスワクチン）

- 対象年齢：生後6週～24週まで
- 回数：2回
- 間隔：4週間以上
- 費用：無料

ロタウイルスワクチン5価（5価経口弱毒生ロタウイルスワクチン）

- 対象年齢：生後6週～32週まで
- 回数：3回
- 間隔：4週間以上
- 費用：無料

◆初回接種は、「腸重積症（※）」の起こりにくい時期を考慮して、生後15週未満までに済ませることが望ましいとされています。また、2種類のワクチンの互換性に関する安全性や有効性などについては確認されておりませんので、いずれか一方のワクチンを接種してください。

※腸重積症とは、腸の一部が隣接する腸管にはまり込む病気で、「突然激しく泣く」「嘔吐を繰り返す」「便に血が混ざる」などの症状があらわれ、速やかな治療が必要です。ワクチンの接種にかかわらず、3ヵ月～2歳くらいまでのお子さんにかかりやすいです。特にワクチン接種後（特に初回接種後）1～2週間の間は、かかりやすくなると報告されています。